【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年６月１日
【会社名】	株式会社大泉製作所
【英訳名】	ＯＨＩＺＵＭＩ　ＭＦＧ．ＣＯ．，ＬＴＤ．
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　後藤　英恒
【本店の所在の場所】	埼玉県狭山市新狭山一丁目11番４号
【電話番号】	０４－２９５３－９２１２
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長　　山崎　成樹
【最寄りの連絡場所】	埼玉県狭山市新狭山一丁目11番４号
【電話番号】	０４－２９５３－９２１２
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長　　山崎　成樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成30年５月15日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

① 為替差損の計上

為替相場の変動により、為替差損を営業外費用に計上いたします。

② 法人税等調整額の計上

最近の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討を行った結果、回収可能性のある部分について、繰延税金資産の計上を行うことにより、法人税等調整額を計上いたします。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

① 為替差損の計上

平成30年３月期の連結決算で為替差損107百万円を営業外費用に計上いたします。

② 法人税等調整額の計上

平成30年３月期の個別決算で法人税等調整額を△99百万円計上いたします。

平成30年３月期の連結決算で法人税等調整額を△102百万円計上いたします。

以　上